

中高年パネル調査の概要

1. 中高年パネル調査について

「中高年パネル調査（暮らしと生活設計に関する調査）」は、高齢社会の主役となる中高年のライフコースに焦点を絞り、その変動を明らかにすることによって、高齢社会におけるさまざまな社会基盤のあり方を模索するための材料を得ることを目的として実施している。

1997年（平成9年）を第1回調査とし、調査対象の中高年のそれまでのライフコースを回想法によって明らかにし、同一の回答者を2年毎に追跡して調査している。

現時点で、1997年（平成9年）、1999年（平成11年）、2001年（平成13年）、2003年（平成15年）の4時点の調査が終了しており、本年は第5回目の調査を予定している。本号では、第4回調査までの回答結果を分析対象としている。

2. 調査対象について

本調査は、1933年（昭和8年）から1947年（昭和22年）生まれの全国に住む男性を対象としている。すなわち、調査開始時点の1997年に50～64歳だった方が対象である（図表-1）。

本調査では、全国の地域ブロックの中から調査地点を無作為に抽出し、地点内に居住する対象者から条件に該当する人を抽出するエリアサンプリング法によって対象者を抽出した。住民基本台帳からの無作為抽出方法は、無作為性を担保する方法としては適切であるが、民間事業者が住民基本台帳を閲覧することに制限がある地域も多いことから、今回は当該方法を採用した。

調査対象の地域ブロックは次の通りである。各地点の抽出割合は、人口構成に準拠した。調査対象の抽出割合は図表-2に示すとおりである。

- ア) 北海道ブロック（北海道全域）
- イ) 東北ブロック（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）
- ロ) 東京ブロック（東京都全域）
- エ) 東京を除く首都圏ブロック（千葉、埼玉、神奈川、茨城、各県の首都圏域）
- オ) 首都圏以外の関東ブロック（群馬、栃木、山梨、千葉、埼玉、神奈川、茨城、各県の首都圏域以外）
- カ) 北陸ブロック（新潟、富山、石川、福井）
- キ) 中京圏ブロック（愛知、岐阜、三重の中京圏）
- ク) 中京圏以外の中部ブロック（静岡、長野、愛知、岐阜、三重の中京圏域を除く）
- ケ) 大阪ブロック（大阪府全域）
- コ) 大阪を除く京阪神圏ブロック（奈良、京都、兵庫の京阪神圏）
- サ) 京阪神圏以外の近畿ブロック（滋賀、和歌山、奈良、京都、兵庫の京阪神圏域以外）
- シ) 中国ブロック（鳥取、島根、岡山、広島、山口）

- ス) 四国ブロック（徳島、香川、高知、愛媛）
- セ) 北九州ブロック（福岡、長崎、佐賀、大分）
- リ) 南九州ブロック（熊本、宮崎、鹿児島、沖縄）

なお、首都圏、中京圏、京阪神圏は次のように設定した。

- ア) 首都圏：旧東京都庁を中心とした半径 50 キロ圏
- イ) 中京圏：名古屋駅を中心とした半径 40 キロ圏
- ウ) 京阪神圏：大阪駅を中心とした半径 40 キロ圏と京都市全域

図表－ 1 調査時点と調査対象者の年齢

調査対象世代	1997年 (終了)	1999年 (終了)	2001年 (終了)	2003年 (終了)	2005年 (予定)
昭和8年～12年	60～64歳	62～66歳	64～68歳	66～70歳	68～72歳
昭和13年～17年	55～59歳	57～61歳	59～63歳	61～65歳	63～67歳
昭和18年～22年	50～54歳	52～56歳	54～58歳	56～60歳	58～62歳

図表－ 2 地域別の調査対象者の抽出率

	13大都市	人口10万人 以上の都市	人口10万人 未満の都市	町村（郡部）	合計
北海道ブロック	1.2	1.3	0.7	1.2	4.5
東北ブロック	0.7	2.2	1.8	2.8	7.5
東京ブロック	6.6	2.4	0.6	0.1	9.7
首都圏ブロック	4.4	8.6	2.6	1.8	17.4
関東ブロック		2.0	1.3	2.1	5.4
北陸ブロック		1.6	1.3	1.4	4.4
中京圏ブロック	1.8	3.2	1.8	2.0	8.8
中部ブロック		2.6	1.2	1.7	5.5
大阪ブロック	2.3	4.4	0.7	0.2	7.6
京阪神圏ブロック	2.3	2.2	1.1	1.0	6.4
近畿ブロック		1.2	0.7	1.1	3.0
中国ブロック	0.8	2.4	1.3	1.7	6.1
四国ブロック		1.2	0.8	1.3	3.3
北九州ブロック	1.7	1.3	1.5	1.9	6.3
南九州ブロック		1.5	1.0	1.7	4.3
合計	21.7	38.1	18.4	21.9	100.0

3. 調査項目について

本調査では、調査年度にかかわらず、原則として同じ調査項目を設定している（ただし、99年には調査項目を若干変更し、03年には末尾に調査項目の追加を行っている）。

主な調査項目は次のとおりである。調査項目の詳細については、巻末の資料（調査票）を参照されたい。

- 住まい
- 経験した出来事
- 就学歴
- 世帯
- 配偶者（妻）
- 子ども
- 両親・きょうだい
- 仕事
- 定年
- 配偶者の仕事
- 家庭の収入や支出
- 貯蓄・不動産・ローン
- 老後の生活設計
- 家族関係
- 人間関係
- 健康・生活意識・価値観等

4. 調査の回収の状況について

配布・回収の方法は、訪問配布・訪問回収である。99年、01年、03年の調査については、前回調査（2年前）の回答者に対して調査票の配布を行った。各回の調査における回収数は次のとおりである。

- | | |
|---------|-------------------------|
| ● 97年調査 | 1,502 サンプル (4,000 アタック) |
| ● 99年調査 | 1,034 サンプル |
| ● 01年調査 | 910 サンプル |
| ● 03年調査 | 814 サンプル |

5. 調査対象者の主な属性について

調査対象者（03年調査で回収した814サンプル）の主な属性は次のとおりである。

図表－3 調査対象者の主な属性

